

メンズエステで紙パンツの履き方わからないふりして、全裸で女の子のスタッフにこれどっちから履けばいいですか？って聞いたらビックリされた話

メンズエステに行く前から、俺はずっとそのことばかり考えていた。紙パンツは必須だという情報を何度も確認した。普通ならそれをちゃんと履いて待つものだろうけど、俺はどうしてもスタッフの女の子にチンコを見られたかった。ただ裸になるだけじゃなく、自然な流

れで、しかも「仕方なく」って感じで晒したかった。

予約した店は、個室で比較的落ち着いた雰囲気のところだ。受付を済ませて部屋に案内されると、ベッドと簡単な椅子、そして小さな棚に紙パンツが置いてあった。スタッフの女の子が「それではお着替えをお願いします。紙パンツを履いてお待ちください」と丁寧に言って、一旦出て行った。

ドアが閉まった瞬間、俺は服を全部脱いだ。シャツ、ズボン、下着まで一気に。全裸になる。空気が肌に触れて少し冷たい。紙パンツを手取る。薄い紙のような素材で、前に小さな切れ込みみたいな部分がある。普通ならすぐに履くところを、俺はわざと待った。

ノックの音がした。

「失礼します」